

研究業績

佐無田 光

(2019 年度～2020 年度)

【書籍】

- 除本理史・佐無田光『きみのまちに未来はあるか? 「根っこ」から地域をつくる』岩波ジュニア新書、2020 年 3 月
- Samuta,H. (2020), “Urban Landscapes and Endogenous Development Based on the Value of Locality: A Case Study of Kanazawa in Japan”, in Noriko Inoue and Valentina Orioli (Ed.), *Bologna and Kanazawa: Protection and Valorization of Two Historic Cities*, Bononia University Press, pp.105-123.

【論文（解説論文・紀要等）】

- 佐無田光「一極集中システムの延命か脱却か ―地方創生に込められた 2 つの可能性」生活経済政策研究所『生活経済政策』No.298、pp.9-13、2021 年 11 月
- 佐無田光「グリーン・ニューデールの潮流と日本のグリーン成長戦略」『環境と公害』岩波書店、51 巻 2 号、pp.14-19、2021 年 10 月
- 佐無田光「東京一極集中の構造と地方分権の課題」自治体問題研究所『住民と自治』2020 年 9 月号（通巻 689 号）、pp.15-18、2020 年 9 月
- 佐無田光「『地域の価値』の地域政策論試論」『地域経済学研究』第 38 号、43-59 頁、2020 年 3 月
- 佐無田光「北陸新幹線後の金沢経済の分岐点 ―観光化する地域の論点」『〈地方自治叢書 32〉自治の現場と課題』日本地方自治学会編、敬文堂、95-124 頁、2020 年 1 月
- 佐無田光「サステナビリティの政治経済学 ―宮本経済学から地域研究への示唆」『環境と公害』岩波書店、49 巻 2 号、52-57 頁、2019 年 10 月

【学会発表】

- 佐無田光「プラットフォーム型経済と地域のプラットフォームに関する政策論的考察」日本地域経済学会 2021 年度西日本支部研究会、2021 年 12 月 17 日
- 佐無田光「一極集中システムの延命か脱却か：地方創生の二面性」財政学研究会 2021 年度冬シンポジウム、2021 年 12 月 4 日

- 佐無田光「エネルギーまちづくりのガバナンス：オレゴン州ポートランド市における 地域的実験の制度設計」、京都大学再生可能エネルギー経済学講座・環境研究総合推進費プロジェクト共催「再エネ講座シンポジウム 2020」、2020年12月14日